

24
25

 U-NEXT

 Premier
League



REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

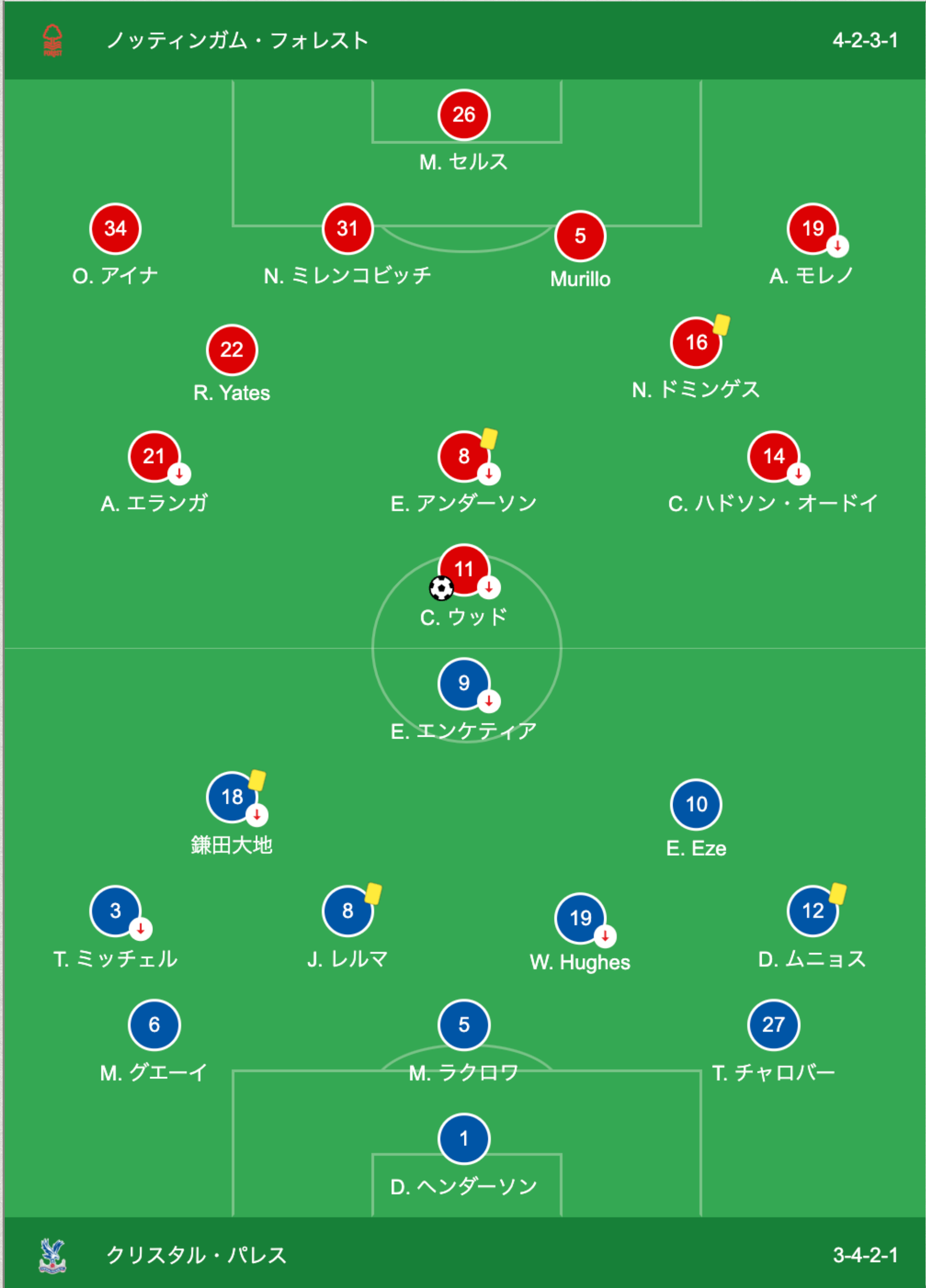
U-NEXT プレミアリーグ 【8】 1022_ノッティンガム・フォレストVSクリスタル・パレス

DATE

2024/10/22

NAME

田中裕介



MATCH REPORT

SCORE 1-0 (1st 0-0 2nd 1-0)

TOP3 point

- ・スタッツがほぼ一緒の互角の試合展開
- ・フォレストの高い集中力とGKセルスの神セービング
- ・パレスのシュートレンジから見える課題

Challenges to the Next

- ・失点時のDF心理をより細かく話す
- ・5バックのクロージングに入るチームの攻略作提示
- ・GKのセービングをナイスセーブで終わらせない

【ノッティンガム・フォレスト】

システムは4-2-3-1。

ギブス=ホワイトとウォード=プラウズが不在の中、代わりには中盤センターにニコラス・ドミンゲス、トップ下にアンダーソンを配置。運動量に優れる2枚の配置は成功した。ルーズボールへの反応、攻撃と守備を繋ぐ役割をもう1人のMFイェーツとともに中盤3枚で見事に完遂。

サイドでの優位性では上回れなかったが中央の覇権争いは迫力と集中力でフォレストに軍配。

試合を通してロングボールとショートカウンターを狙う形。

ロングボールを収めることには苦戦を強いられたFWウッドだが、一瞬の隙を付き相手のクリアミスエリア外からダイレクトで右足一閃。これがGKの手を弾き吸い込まれて先制。今シーズンの好調そのままに勢いある選択が功を奏した。先制後は危なげなく選手交代をしながら試合をクロージング。何度かあったピンチもGKセルスのビックセーブによりクリーンシート達成。DFラインだけではなく11人全員のハードワークと守備意識の高さが光る試合だった。

トップ下に入ったアンダーソンはドリブルからのフィニッシュやサイドからの高精度クロスでチャンスを演出。個人的なMVP。

【クリスタル・パレス】

システムは5-3-2。

中盤を鎌田、レルマ、ヒューズの3枚を並べ前線にエゼ、エンケティアを残しやや守備に力を入れた配置。ショートカウンターでチャンスを作った前節リヴァプール戦と同じ狙いで試合に入った。前半狙い通りの形から2度決定機があるがわずかにゴールマウスの外。

後半立ち上がりはフォレストにやや押し込まれるも徐々に反撃の兆しが。

カウンターからあと一歩のところまでブロックされなかなかゴールに結びつかない。試合が動いたのは相手SBモレノからのロングボール。対応を誤ったDFチャロバーのクリアミス相手FWウッズにダイレクトで叩き込まれ0-1。

失点後は攻撃的な選手をどんどん送り込むがチャンスはエリア外のシュートが多い。シュラップの技ありコントロールショットも相手GKセルスの好セーブで得点ならず。

課題は相手陣地深い位置からのクロスが少ないこと。

深い位置を取るためのランニングや工夫を増やしていきたい。

苦しい状況が続くがバックラインの連携が上がってきたことはポジティブ。攻撃面での課題をクリアにして押し込んだ状態での打開策が勝ち点3獲得のポイントに感じる。エゼのシュート力は脅威。